

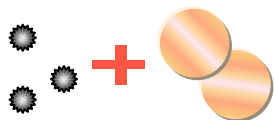
パラファイン ANA-15

(PARAFINE ANA-15)

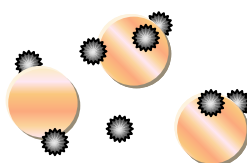
パラファイン ANA-15 は、アレルギー症状を引き起こす因子であるアレルギー(花粉、ダニ)に作用し、アレルギーの沈静化に極めて高い効果を発揮する機能性加工剤です。

アレルギー沈静化 アレルギーの活動を抑制する

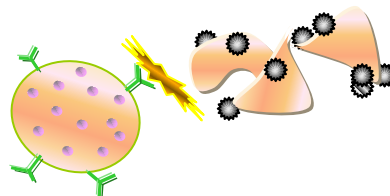
1. アレルギー
+
銀担持微多孔無機化合物



2. アレルギーを吸着変成



3. 肥満細胞と結合しない



特徴

- 非常に高い抗アレルギー沈静化効果を付与します。
- 経口毒性値や変異原性等の安全性に問題の無い安心して使用できる薬剤です。
- 従来からアレルギー沈静化効果で知られている柿渋やタンニン酸のポリフェノール系のよう
に、NOx 黄変を起こさない製品です。

性状

外 観 : 乳白色分散液
主 成 分 : 銀担持微多孔無機化合物
P H : 約8
イオン性 : アニオン
溶 解 性 : 冷水に容易

標準使用量

パディング法
パラファインANA-15 5~10%
パラレジン PS-200 3~8%
通常の乾燥工程で効果が出ます。

安全性試験データ

試験名	供試動物	投与経路	試験結果
急性毒性試験	ラット	経口	LD50,5000mg/kg 以上
皮膚一次刺激試験	ウサギ	経皮	刺激性なし
変異原性獲得試験	サルモネラ菌	—	変異原性は認められない
皮膚感作性試験	モルモット	経皮、皮下	感作性は認められない。

アレルギー沈静化率:ELISA 法(%)

〔 加工条件及び測定結果 〕

試験布:綿ニット

Pad → 絞り率 87% → 乾燥 110°C×3分 → 熱処理 160×1分

			1	2
パラファイン ANA-15			原 布	5
パラレチン PS-200				5
アレルギー沈静化率(%) ELISA 法	スギ花粉 アレルギー	初期	0	92
		HL-10	0	84
	ダニ アレルギー	初期	0	98
		HL-10	0	90

〔 ELISA 法 :酵素免疫測定法 〕

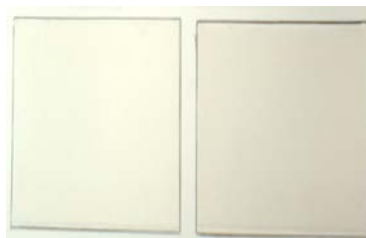
ELISA 法とは、サンプル中に含まれる微量のアレルゲンを、抗体または抗原を用い、抗原抗体反応を利用して定量的に検出する方法。

銀の酸化による変色試験

試験布:ポリエステルトロピカル布

屋外暴露試験(1週間)

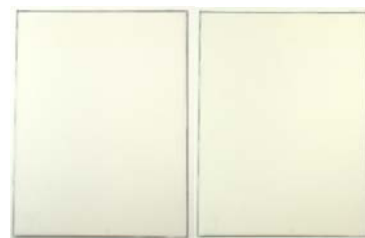
原布 10%加工布



変色有り

NOx 試験 JIS:L-0855(1ユニット)

原布 10%加工布



変色無し

※ 綿及び綿混紡品 :ポリエステルに比べて変色堅牢度の低下は少ない。

注意事項

1. 処理される繊維及び加工処方により、性能が異なります。また、銀の酸化作用により、白物や淡色物は若干の変色を伴う場合があります。予備試験の上ご使用下さい。
2. 本剤をそのままの状態に保存する場合には沈降は発生しませんが、一旦希釈を行うと沈降が発生致します。希釈した状態で長時間放置する場合は常時、攪拌を行って下さい。加工の際も、保管タンク、加工浴を攪拌し分散させて下さい。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては充分御試験の上御使用下さい。

取扱いに関しましてはMSDSを御参照下さい。